

# 平成28年度教職員派遣研修に関するアンケートの集計結果

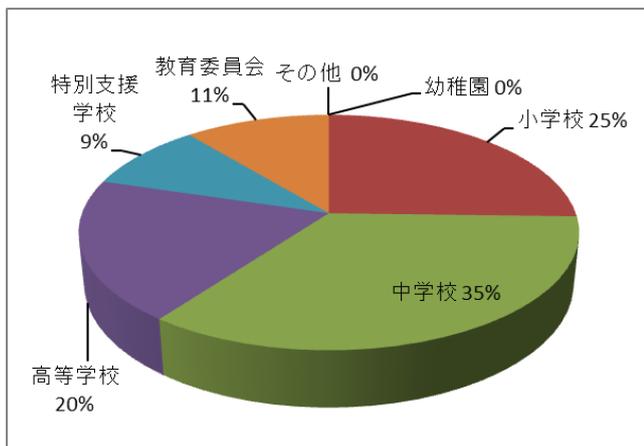
(平成27年度に派遣研修を受けた教職員の1年後の成果還元度アンケート)

集計総数 118名

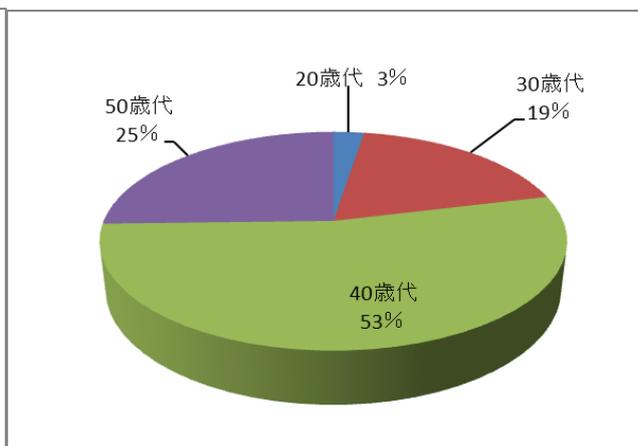
## 派遣分野

- ・ 道徳教育指導者養成研修 (中央指導者研修)
- ・ 道徳教育指導者養成研修 (ブロック別指導者研修)
- ・ 生徒指導指導者養成研修
- ・ いじめの問題に関する指導者養成研修 (東海・北陸ブロック)
- ・ 伝統音楽指導者研修会
- ・ キャリア教育指導者養成研修
- ・ 人権教育指導者養成研修
- ・ 言語活動指導者養成研修
- ・ 産業・情報技術等指導者養成研修
- ・ 産業教育実習助手研修
- ・ 教育相談指導者養成研修
- ・ 学校組織マネジメント指導者養成研修
- ・ カリキュラム・マネジメント指導者養成研修
- ・ 学校教育の情報化指導者養成研修
- ・ サイエンス・リーダーズ・キャンプ
- ・ 産業教育実地研修
- ・ 長期内地派遣研修
- ・ 教頭等民間派遣研修
- ・ 教育課題研修指導者海外派遣プログラム
- ・ 若手教員米国派遣交流事業
- ・ 日韓学術文化青少年交流事業 (公益財団法人日韓文化交流基金)
- ・ 国外大学プログラム
- ・ 英語教育推進リーダー中央研修

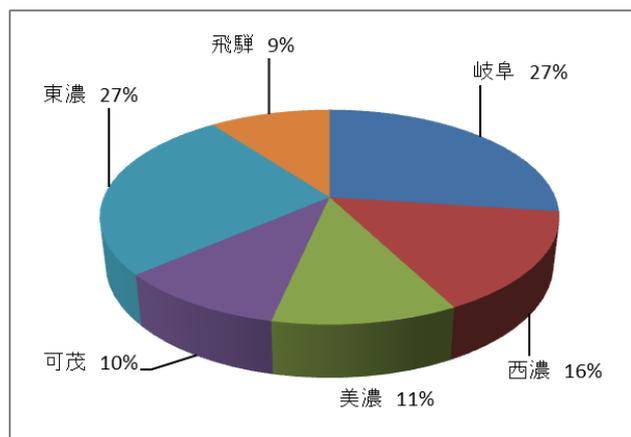
## 所属種別 (平成28年度所属)



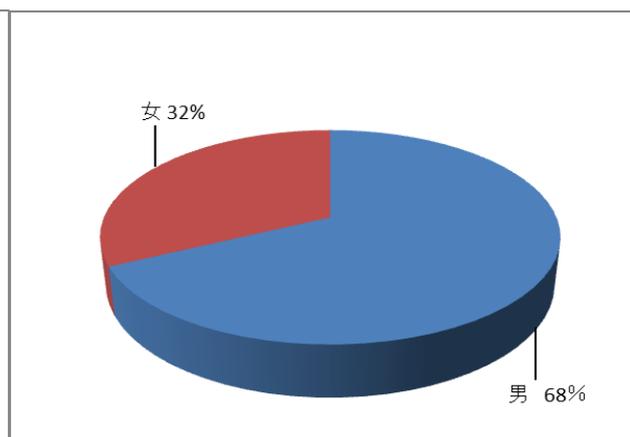
## 年代別



## 地区別（全校種含む）



## 男女別

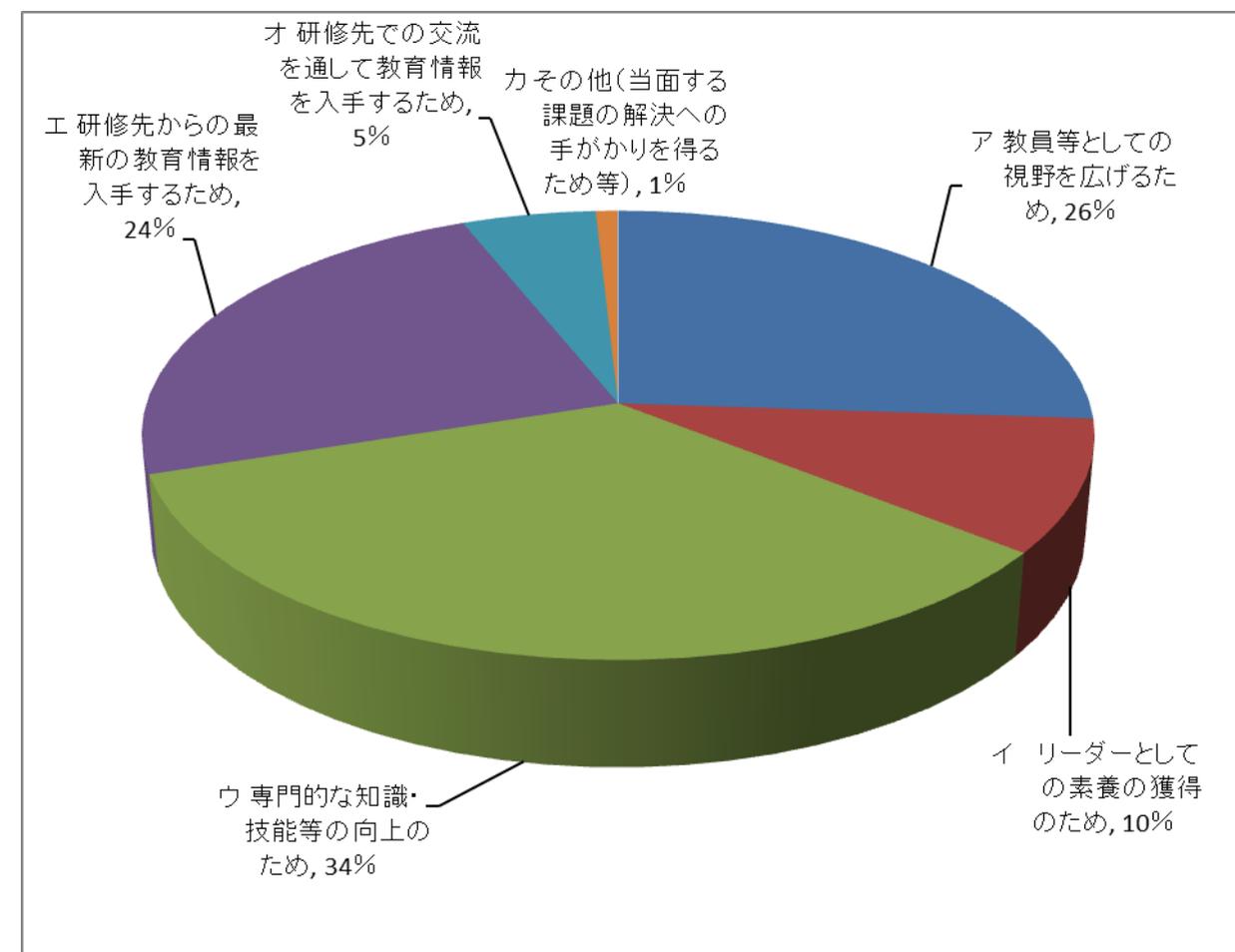


## 設問ごとの集計

設問1 あなたはどのような期待のもとに、研修に参加しましたか。

（以下の選択肢から主なものを2つ以内で選択）

選択肢
ア 教員等としての視野を広げるため
イ リーダーとしての素養の獲得のため
ウ 専門的な知識・技能等の向上のため
エ 研修先からの最新の教育情報を入手するため
オ 研修先での交流を通して教育情報を入手するため
カ その他（当面する課題の解決への手がかりを得るため等）

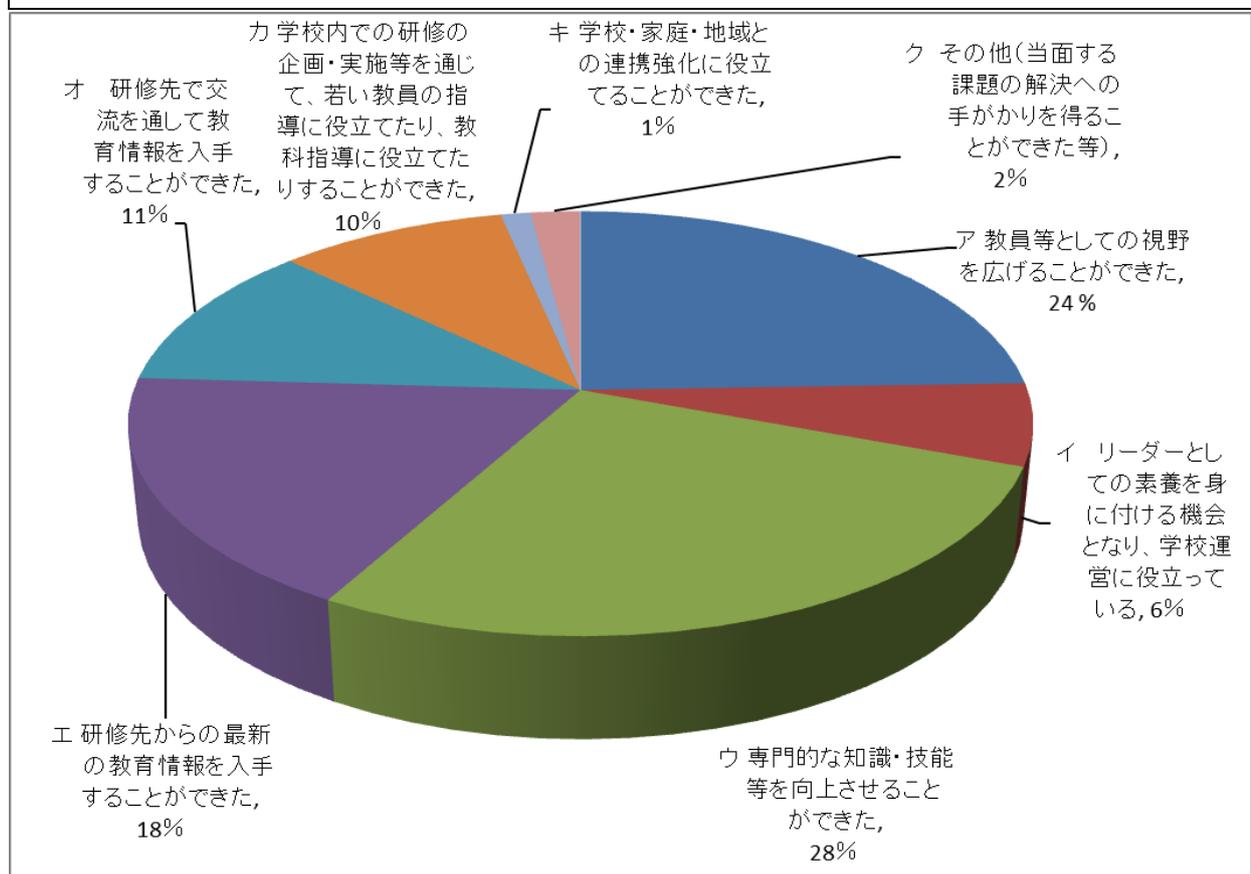


設問 2 (1) 研修の成果は、ありましたか。

「はい」・・・100%、「いいえ」・・・0%

(2) 「はい」の理由 (以下の選択肢から主なものを2つ以内で選択)

選択肢
ア 教員等としての視野を広げることができた
イ リーダーとしての素養を身に付ける機会となり、学校運営に役立っている
ウ 専門的な知識・技能等を向上させることができた
エ 研修先からの最新の教育情報を入手することができた
オ 研修先での交流を通して教育情報を入手することができた
カ 学校内での研修の企画・実施等を通じて、若い教員の指導に役立てたり、教科指導に役立てたりすることができた
キ 学校・家庭・地域との連携強化に役立てることができた
ク その他 (当面する課題の解決への手がかりを得ることができた等)

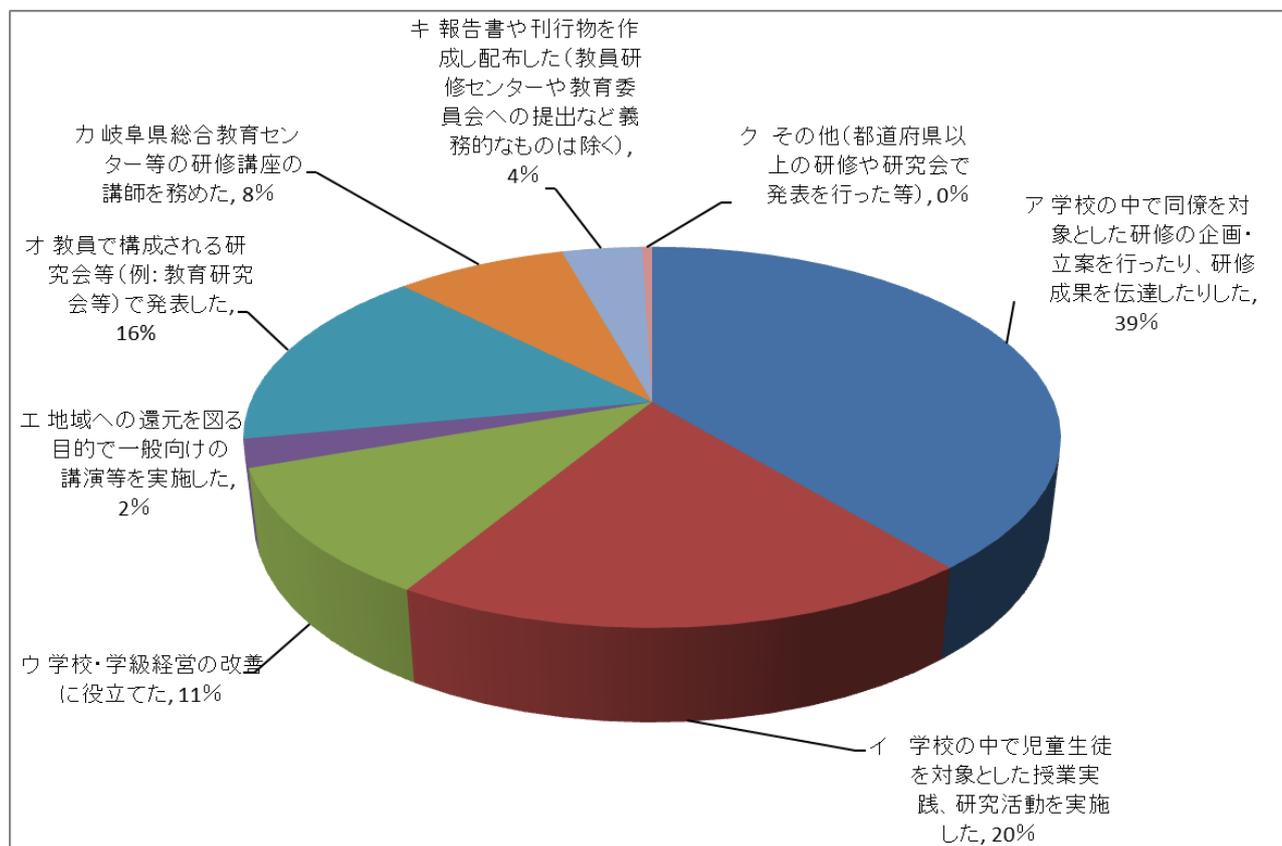


設問3 (1) 研修終了後、研修の成果をそれぞれの職場や地域で還元しましたか。

「はい」・・・100%、「いいえ」・・・0%

(2) 「はい」の理由(以下の選択肢から主なものを2つ以内で選択)

選択肢
ア 学校の中で同僚を対象とした研修の企画・立案を行ったり、研修成果を伝達したりした
イ 学校の中で児童生徒を対象とした授業実践、研究活動を実施した
ウ 学校・学級経営の改善に役立てた
エ 地域への還元を図る目的で一般向けの講演等を実施した
オ 教員で構成される研究会等(例:教育研究会等)で発表した
カ 岐阜県総合教育センター等の研修講座の講師を務めた
キ 報告書や刊行物を作成し配布した。(教員研修センターや教育委員会への提出など義務的なものは除く)
ク その他(都道府県以上の研修や研究会で発表を行った等)



## 研修の成果・意識の変化について（意見抜粋）

### 【学校運営・若手教員への指導等について】

- 生徒指導上の諸問題について、学校の中核として組織的な対応を行うことができている。また、研修で培った専門的な知識・技能を活かし、生徒理解や指導・支援及び若い教員に対する助言等を行っている。（生徒指導指導者養成研修）
- 様々な視点からの組織マネジメントについて学ぶことができ、管理職として学校経営に携わることへのモチベーションを高めることができた。（学校組織マネジメント指導者養成研修）
- 研修中、企業の社長、部長等管理職が集まる経営会議や、週1回で行われる主任会議に参加させていただく中で、企業として成果を挙げるための手立てや、不具合（失敗等）を出したとき、同じ不具合を出さないためのあり方等を具体的に提案している点が大変勉強になった。（教頭等民間派遣研修）
- 学校運営について集団で協議し、学校運営の全体案を作成し発表する機会は、短い時間の中で大変であったが、体験を通して目標設定や指導方法について、建設的に考えることができ大変有意義であった。学校での研修でそれぞれの学年・HRでの指導方法について、まだまだ不十分であるが以前より具体的な指示ができるようになった。（キャリア教育指導者養成研修）

### 【教育課題について】

- 児童生徒が利用する放課後等デイサービスや就労A型事業所の業務内容等を知ることができ、現在から将来までの福祉サービス等を教員や保護者の相談やアドバイスに役立てることができた。（教頭等民間派遣研修）
- インクルーシブ教育の最先端を走るイタリアの教育システムや理念にふれることができ、当県の特別支援教育の在り方を振り返ることができた。また、他県の教員との交流を通して視野を広げることができた。（教育課題研修指導者海外派遣プログラム）
- いじめに対する考え方や捉え方が時代によって違いがあることや、その時代の特徴があり、どのように対応しなければいけなかったか、これからもどのように対応していくべきなのか。環境や時代背景も考察していかなければいけないと感じた。（いじめに関する指導者養成研修（東海・北陸ブロック））

### 【専門的な知識・技能等の向上について】

- キャリア教育の基本的な内容や先進的な取組について学び、理解を深めることができた。勤務校に戻り当校の課題から実践したい内容を検討し、少しずつですが研修した内容を反映させることができた。（キャリア教育指導者養成研修）
- 様々な指導法の中でも、段階的なリスニングの指導法を学ぶことができ、研修後にすぐに授業に生かすことができた。また、ライティングの指導法において、同じ課題でも能力に応じて取組の仕方を変えることで、できる生徒が飽きない工夫の仕方を学ぶことができた。（英語教育推進リーダー中央研修）
- 知的の特別支援学校の教育課程で「道徳」は、「合わせた指導」に入っていることが多く、これまでしっかり学ぶ機会が少なかった。今回の研修で「特別の教科 道

徳」になった経緯や道德教育とはという講義をいくつか聞くことができ専門的な知識の向上に役立ちました。(道德教育指導者養成研修(ブロック別指導者研修))

- 文部科学省が求める今後の英語教育の在り方について学ぶことができた。また、他県からの参加者とともに研修を行う中で、様々な情報交換をすることができ、岐阜県とは違う取り組みの方法を知ることができた。(英語教育推進リーダー中央研修)
- 児童生徒の学力向上を目指しているという点は、日本もイギリスも同じである。国のおかれている状況や実態に応じて、さまざまな取組がなされていることがわかった。そのまま、日本に導入することは難しいが、日本では何ができるのか考えていくきっかけとなった。(教育課題研修指導者海外派遣プログラム)
- 現地の大学教授が教えてくださった教授法を使って模擬授業を行い、それをアレンジして日本でも生徒が意欲的に学べる授業実践に役立てることができました。また、ホームステイ先の方々から日常会話や専門的な知識を教えていただいたり、現地の学校に出向き、生徒と交流したり、参観授業を行ったりすることで、教育実践に役立てることができました。(国外大学プログラム)
- パフォーマンステスト、ライティング活動、スピーキング活動、ペアワークやグループワークを体験し、その有効性の理解を深めることができた。また TOEFL、TOEIC、IELTS などの英語試験を受験することにより、英語力の向上につながり、授業での還元につながっている。(国外大学プログラム)
- 問題解決学習の意義と進め方、指導の仕方がよく分かり、大変参考になった。研修に参加する前までは、教師が生徒に知識を教える一方通行型の授業になりがちであったが、授業に生徒が主体的に活動する「グループ学習」の場をできるだけ取り入れ、教師のファシリテーターとしての役割を意識した新しい指導に挑戦するようになった。また、授業の単元計画や学習指導案を作成する際に、指導内容によっては、どこに生徒が主体的に活動する場を入れると効果的な授業になるかをよく考えるようになった。研修で学んだような問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れた授業例を注視するようになった。グループ学習を取り入れることによって、豊かなコミュニケーションがある授業になったと思われる。しかし、内容によっては生徒間のコミュニケーションが行き詰まる場合がある。「答ではない方向性のある言葉」など、教えすぎないが生徒のモチベーションもさげない接し方やアドバイスを大切にしたいと思った。(産業・情報技術等指導者養成研修)
- 伝統的な音楽について、他県の音楽科の指導がどのようになされているのか、資料をもとに知ることができた。謡曲については、節まわしの読み方などを知ることができた。また、自分の選択した、謡曲の研修以外の内容も冊子を通して知り、広めることができた。(伝統音楽指導者研修会)